



関東インカレ 全日本インカレ

駒大まさかの5位という結果に終わった箱根駅伝から早半年。各大学とも春に入部したルーキーたちを従えて関東インカレ、日本インカレに臨んだ。

長距離種目では、モグス(山梨学大)、佐藤悠基(東海大)、伊達(東海大)、上野(中大)、竹澤(早大)ら駅伝でも馴染みの強力選手から、野心に満ち溢れた新鋭陣までもが顔を揃える一方、駒大からも期待のかかった選手が多数出場した。

春の練習をスピード強化に特化した駒大は、その成果が実り、両大会合わせて9名が自己記録を更新。冬へ向けて順調な滑り出しを見せている。しかし、好調なのは駒大だけではない。どの種目も昨年度に増して激しいタイム争いとなり、大会新記録や自己記録更新者が続出しているのだ。今後夏合宿を期に、いかに記録を伸ばし、うまく調整するかが勝負の分かれ目となるだろう。

秋から始まる三大駅伝は、ハイレベルな戦いとなる事は必至。どんな戦いが繰り広げられるのか注目したい。(稲)